

実態と違つ前館長出勤印

蒲郡市の科学館 職員処分検討へ

蒲郡市生命の海科学

彦議員（無会派）が指

○年から今年三月まで

摘した。本紙の取材

に、稲葉正吉市長は

「不手際」を認め、職

員の処分を検討する考

えを示した。

川上前館長は愛知教

柴田議員が情報公開

育大名譽教授。二〇一

請求し、入手した前館

長の出勤簿によると、

ほぼ毎週月、水、金曜

に出勤を示す押印があ

る。しかし、出張記録

などと照らし合わせる

と、出勤しているはず

の日に押印がなかった

り、逆に前館長が休ん

だ日に押印されていた

り、「例えば昨年四月

は、月の半分が実態と

違っている」（柴田議

員）という。

蒲郡市が定める「要

綱」によると、前館長

は週三日、一週間あた

り十五時間の勤務を求

められていた。規定に

満たないと、報酬（月

二十五万円）を減額す

るとされている。

本紙の取材に、労務

管理する立場だった尾

崎弘章・前蒲郡情報ネ

ットワークセンター長

は「判は職員が一定期

間分をまとめて押して

いた」と語り、勤務実

態と異なる出勤簿の作

成を認めた。

稲葉市長は「すぐ調

査を指示した。もし払

い過ぎがあれば、戻し

てもらつて、川上前館長

は「週に五、六日出勤

していた時期もある

し、しっかり仕事をし

た自負はある。残念だ」

と話した。（木村尚公）